

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	135青少年の健全育成	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	青少年関係団体間の連携をより推進し、事業の更なる充実化を図っていく。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	青少年関係団体間の連携をより推進し、事業の更なる充実化を図っていく
②①に基づく取組み結果	青少年育成推進会議と青少年相談員連絡協議会が共催し、東日本大震災被災地支援を通じた青少年健全育成事業として、「復興支援チャリティフェスタ」を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	青少年及び関係団体	意図(対象をどうするのか)	青少年健全育成及び団体の活性化
②事務事業の概要	青少年の健全育成を推進するため、関係団体と連携協力し様々な事業を実施するとともに、団体の活動に対して助成を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	社会構造の変化に伴い、従来は自然発生した異年齢交流や自然体験、社会体験等青少年期における社会性形成の場が減少傾向にあり、それらの機会の必要性はより求められている。事業への期待は高く、その傾向は進行していくと思われる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	青少年関係団体間の連携に取り組み、青少年育成推進会議と青少年相談員連絡協議会が共催事業を実施するなど、青少年健全育成事業の充実化を図った結果、延べ10,000人以上が青少年健全育成に係るイベントに参加した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	元気っ子ゼミナル参加者数	51	55	47	人	業務取得
	ii	成人の日記念行事実委会議数	13	10	11	回	業務取得
	iii	各団体活動数	158	159	162	回	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	6,464	8,091	金額(千円)	内容		8,302	
国支出金(千円)	0	0	2,520	成人式会場設営等委託		0	
県支出金(千円)	235	235	376	成人式記念行事実行委員会負担金		235	
市債その他(千円)	0	0	2,408	青少年教育関係団体等活動補助金		0	
一般財源(千円)	6,229	7,856	141	土幌町受入実行委員会負担金		8,067	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	社会全体の規範意識の希薄化等により、地域の教育力の重要性が増す中、事業の担い手の確保が課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	比較的低コストで事業効果も高く効率性は極めて高いが、補助金がより効果的に使われるよう精査していくため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「公共施設等再編計画」に基づき、利用方法の見直しを検討する	③平成26年度に取組む改革・改善内容	生涯学習情報提供に係るシステムの更新
②①に基づく取組み結果	公民館長を中心とした情報共有・ミーティングの場の設置、利用の快適化として館内BGMの実施や利用基準の緩和を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図(対象をどうするのか)	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	・経験・専門性・技術等を有する学習指導者を養成し、市民の生涯学習活動が円滑に行われるよう、各種研修会等を開催する。また生涯学習活動の一環としてボランティア活動を位置づけ、ボランティア実践者の育成、支援を図るための講座を開催する。 ・市役所を市民の大学と位置づけ、行政の各部ごとに学部を設置し、この学部ごとに市民講座を主催・実施する。また、職員を講師として市民団体や企業、学校の研修会や学習会に派遣する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	いわゆる2007年問題以降、自己表現を図る場所として、さらには、社会参加への機会の場として、利用者は増加し、学習意欲の多様化が進んでいくものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)生涯学習推進研修会(職員):2回 参加者99人 (2)読み聞かせボランティアアドバンス研修会:3回 参加者延べ196人 (3)学部主催講座実績:6学部6講座 計6回実施 参加者総数481人 (4)講師派遣事業実績:派遣件数201件 参加者総数12,908人						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習推進センター利用件数	2,008	2,076	1,968	件	業務取得
	ii	インターネットアクセス件数	27,069	30,819	30,259	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	38,822	42,047	金額(千円) 内容			35,820	
	国支出金(千円)		12,566	使用料及び賃借料			
	県支出金(千円)		12,158	委託料			
	市債その他(千円)		7,658	需用費			
	一般財源(千円)	38,822	42,047	6,640	賃金	35,820	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	高度な情報化社会の到来により年々市民の学習意欲の多様化が進んでいる					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コスト削減のための人員体制や組織の統廃合は限界に達している中で、多様な学習要求に対してサービスの向上を図るため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初			H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
平成26年度への繰越額(単位:千円)						

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	地域の学習拠点として、関係機関、地域住民及び地域団体との連携をさらに図る必要がある。ニーズを把握することでセンターが提供するプログラムの幅を広げる。学習施設に関わったことのない人にも興味を持ってもらう内容の検討	③平成26年度に取組む改革・改善内容	コスト削減のため、人員体制や事業の改善等を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める
②①に基づく取組み結果	図書館などの社会教育施設や関係機関との連携により、生涯学習の拠点としての有効性を高めた		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	活力のある地域社会の推進
②事務事業の概要	生涯学習を推進するため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の提供、グループ・サークルの主体的学習活動の支援及び学習成果の発表など各種事業を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習意欲、地域奉仕意欲の高い人々がさらなる活動の幅を求めることや学習センター利用者の増加が見込まれる			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)東部学習センター主催事業(2)中央公民館主催事業(3)北部公民館主催事業(4)南部公民館主催事業(5)東初富公民館主催事業					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	延べ主催講座参加者数	15,605	17,679	16,671	人 業務取得
	ii	延べ施設利用者数	291,040	279,042	277,749	人 業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	111,792	109,593	金額(千円) 内容			129,497
国支出金(千円)			36,802	東部学習センター管理運営		
県支出金(千円)			29,383	中央公民館管理運営		
市債その他(千円)			17,485	東初富公民館管理運営		
一般財源(千円)	111,792	109,593	13,200	南部公民館管理運営		129,497

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	学習ニーズの多様化や施設利用者の増加が見込まれるため、地域の学習拠点としての有効性を高める必要がある					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として、関係機関、地域住民及び地域団体との連携をさらに図る必要があるため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績		当初			H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	計画的なメンテナンスなどは必要不可欠であり、突発的な工事施工による財政への圧迫は極力回避しなければならない	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	東初富公民館空調設備改修工事及び敷地内整備工事並びに旧三橋記念館解体工事を行う (南部公民館外壁・屋上防水工事を併せて実施)
②①に基づく取り組み結果	南部公民館外壁・屋上防水工事設計及び東初富公民館空調設備改修工事設計の実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により利用環境悪化を防止、環境の快適化により施設の利用促進に資する
②事務事業の概要	東初富公民館の老朽化した空調設備及び南部公民館の老朽化した外壁・屋上防水の改修工事の設計委託を行う。中央公民館(三橋記念館)解体工事実施設計委託を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化に伴い、改修箇所が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	空調設備及び外壁・屋上防水改修を行うことにより、利用者のサービス向上と施設の長寿命化に寄与する設計委託をした。中央公民館(三橋記念館)解体工事実施設計委託を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 工事件数	1	2	0	件	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	28,511	7,648	金額(千円)			274,966
国支出金(千円)	1,264	2,000	1,902			南部公民館外壁・屋上防水改修工事設計委託
県支出金(千円)			2,614			東初富公民館空調設備改修工事設計委託
市債その他(千円)			3,132			中央公民館(三橋記念館)解体工事実施設計委託
一般財源(千円)	27,247	5,648				79,966

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い、改修箇所が増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化にともなう計画的な改修は必要不可欠であり、突発的な工事施工を回避する必要があるため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・東初富公民館空調 ・南部公民館屋上防水、外壁	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	・東初富公民館空調に係る設計委託は予定どおり実施。 ・南部公民館屋上防水、外壁は、入札不調により次年度へ繰越し	50,319	54,014	当初	73,410	7,648	H24からの繰越	0
				H24→25繰越	0		現年分	7,648
③達成状況	未完了			補正	△ 23,091			
④未完了・非着手の理由	入札不調のため			流用・充当	3,695			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)			45,697			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	中央公民館整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度新規事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成25年度完了事業
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	新施設に移転し、利用環境を安全化・快適化し利用促進に資する
②事務事業の概要	中央公民館をさきり鎌ヶ谷市民会館に移転し、設備及び備品等の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化による安全性の不安が見込まれたが本事業により解消された			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	中央公民館をさきり鎌ヶ谷市民会館に移転し、設備、備品等の整備を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 整備件数				1 件	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)		22,693	金額(千円) 内容			
国支出金(千円)			7,815	委託料(備品等運送、生涯学習提供システム移転等)		
県支出金(千円)			12,333	備品購入費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		22,693				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による安全性の不安					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	移転が完了し安全性の不安が解消された					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	備品の移転等	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	予定どおり実施	33,162	23,017	当初	33,162	22,694	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越				
③達成状況	完了			補正			現年分	22,694
④未完了・非着手の理由				流用・充当	△ 10,145			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)						

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	5	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	生涯学習推進課			
施策	135青少年の健全育成	担当課室長	千葉 仁			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「こども110番の家」の増設に努める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	地域等との連携を強化し「こども110番の家」の設置の啓発に努め、増設を図る。
②①に基づく取り組み結果	既設協力者の高齢化による辞退及び転出並びに協力店舗の閉鎖等を調査・整理した結果、前年度比0.4%の減で1,194件の設置となった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の青少年	意図(対象をどうするのか)	①非行の早期発見、早期指導により青少年の非行を防止する。②速やかに情報を発信し青少年の安全確保を図る。
②事務事業の概要	青少年非行の早期発見、早期指導等を実施し、青少年の健全育成を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	・小中学生による殺人事件の発生等、犯罪、非行の低年齢化が進んでいる反面、小中学生が犯罪被害者となる事件が数多く発生している。 ・子ども安全メールの発信に伴う、情報提供の迅速化や「こども110番の家」の増設の要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	補導、相談等の活動において青少年非行の早期発見、早期指導を実施することにより、青少年の健全育成の向上が図られた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	地域見守り活動従事者数	987	1,030	962	人	業務取得
	ii	子ども安全メール登録者数	7,353	7,881	5,163	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	6,960	7,284	金額(千円)	内容	7,368		
国支出金(千円)			163	青少年センター運営協議会委員報酬			
県支出金(千円)	250	250	892	青少年補導員報償	250		
市債その他(千円)			194	青少年センターだより「緑の子」印刷			
一般財源(千円)	6,710	7,034	176	青少年補導員連絡協議会補助金	7,118		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後ますます低年齢層による非行が増加するとともに、犯罪被害者となるケースも増えるものと思われる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	家庭、学校、地域又関係機関との連携を図りながら、補導活動への協力や子ども達の安全に関心を持ってもらうなど地域ぐるみで子ども達を見守り、子ども達が心身ともに健康で安全な生活を送れる環境をつくった。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			当初		H24からの繰越	
	H24⇒25繰越					
	③達成状況			補正		現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	三宅 知子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	保育園や学校との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えた団塊の世代の憩いの場を確立する。インターネットを利用した蔵書公開システムや図書館ホームページを活用し多くの情報を提供する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。
②①に基づく取り組み結果	学校との連携が進んだことにより、団体貸出が増加している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館の資料(図書及び視聴覚資料)	意図(対象をどうするのか)	利用者の多様なニーズに応えるため、図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	多様化・高度化する学習要求に対応するため、図書館資料・蔵書の充実を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始。その後昭和52年に市役所旧庁舎へ改修・移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、市民がより身近に利用できるよう、分館を整備した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	一般図書5,541冊、児童図書2,297冊、視聴覚資料129点を購入することにより、平成25年度末の蔵書数は、297,926冊となった。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 蔵書数	290,688	295,620	297,926	冊	業務取得
	ii 図書購入数	8,633	7,848	7,838	冊	業務取得
	iii 図書貸出数	443,054	445,703	410,564	冊	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	15,000	15,000	金額(千円) 内容		15,000	
国支出金(千円)			9,988 一般図書購入:5,541冊			
県支出金(千円)			3,997 児童図書購入:2,297冊			
市債その他(千円)			1,015 視聴覚資料購入:129点			
一般財源(千円)	15,000	15,000			15,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の充実が求められているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	図書資料購入	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入	15,000	15,000	当初	15,000	15,000	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	15,000
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館情報ネットワーク整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	〇
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	三宅 知子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成25年1月のシステムリニューアルに伴い、システムの適正な運用を図り利用者の利便性を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、利用者により多くの情報を提供する。
②①に基づく取組み結果	インターネットによる予約が増加している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①インターネットを使った図書館と利用者とのネットワーク ②図書館間のネットワーク	意図(対象をどうするのか)	利用者の利便性の向上。市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。
②事務事業の概要	インターネットを利用した蔵書データベースの検索及び貸出予約システムを運用する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和62年よりコンピューターシステムを導入し、貸出サービスを実施している。インターネットの普及による市民要望の高まりに対応し、平成20年より蔵書の公開・予約を開始。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	図書館ホームページアクセス数 157,649件 インターネット予約数 29,678件						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	ホームページアクセス数	163,430	167,847	157,649	件	業務取得
	ii	予約リクエスト数	41,290	40,530	42,563	件	業務取得
	iii	延べ利用者数	124,690	126,912	123,158	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	18,007	8,063	金額(千円)		内容	8,287	
	国支出金(千円)			590	プロバイダー回線使用料		
	県支出金(千円)			127	電話料		
	市債その他(千円)			6,716	図書館オンライン使用料		
	一般財源(千円)	18,007	8,063	630	インターネット検索・予約システム使用料	8,287	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットの普及による情報化社会に対応するため、図書館情報システムのさらなる充実を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者が自宅にいながら図書の検索や予約ができるシステムは、今後さらに内容を充実させ拡大していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	システム運用	平成25年度事業費の状況(単位;千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	図書館が所蔵する図書資料をインターネットで公開し、予約貸出をする。	7,724	8,114	当初	7,724	8,063	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
				補正	0			
③達成状況	完了			流用・充当	390		現年分	8,063
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位;千円) 0						